

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 カンショウ乳酸
 会社名 株式会社武蔵野化学研究所
 本社 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
 担当部門 品質保証室
 連絡先 電話：03-6810-0241 FAX：03-6810-0146
 整理番号 MO1-01

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性・刺激性 区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1

GHSラベル

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸引しないこと。

取扱後は製品に触れた部分をよく洗うこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに汚染した衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

保管（貯蔵）

施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を適切な廃棄方法によって廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名または一般名	含有量	CAS No.	官報公示番号 (化審法)
乳酸	45%	598-82-3	(2)-1369
乳酸ナトリウム	5%	72-17-3	(2)-1376
水	50%	7732-18-5	—

4. 応急措置

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。

眼に入った場合

清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちにはずす。

吸入した場合

すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。その後医師の手当を受ける。

誤飲した場合

多量の水、または食塩水を飲ませて、すみやかに医師の手当を受

ける。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末(ABC)消火器、泡消火器
火災時の特定危険有害性	通常では着火しない。
特定の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	化学用保護メガネ、ゴム長靴、保護手袋を着用する。
環境に対する注意事項	生分解性があるが、酸性物質であるので、河川等への流出を避ける。
除去方法	炭酸ナトリウムまたは炭酸水素ナトリウムで中和した後、砂またはケイソウ土で吸収し、処理用の密閉容器に入れる。少量の場合は、多量の水で洗い流す。廃液は適切に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	酸性の刺激性液体であるので、保護具を着用し、皮膚等につかないよう注意する。
注意事項	特に無し
安全取扱い注意事項	酸性物質であるので、アルカリ性物質との接触には注意する。
保管	
適切な保管条件	遮光した気密容器にて、常温で保管する。 強塩基からは離しておく。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、又は SUS-316L 以上の材質

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	保護メガネ、保護手袋（ゴム製等）、作業衣、保護面

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
性状	無色澄明な液体で、においがいいか、又はわずかに特異なにおいがあり、酸味がある。
pH	2.2~2.8
物理的状态が変化する特定の温度	
引火点	無し
爆発特性	該当せず
比重	d_4^{20} 1.120~1.140
溶解性	
溶媒に対する溶解性	水、アルコールに混和

10. 安定性及び反応性

安定性	安定性あり
反応性	アルカリと反応し、中和熱を發する。
避けるべき条件	裸火、過熱、日光
混触危険物質	強アルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	※知見無し。ただし、参考として乳酸のデータを以下に示す。 LD ₅₀ 4875 mg/kg (マウス 経口) LD ₅₀ 3730 mg/kg (ラット 経口) (いずれも乳酸 100%として)
局所効果	データ無し
変異原性	細菌を用いる変異原性試験で陰性
刺激性	500 mg/24hr sev. (ウサギ skn) 750 μg sev. (ウサギ eye) 750 μg/24hr sev. (ウサギ eye)

12. 環境影響情報

残留性／分解性	分解性良好
---------	-------

13. 廃棄上の注意

- 廃棄する場合は焼却によって行い、方法は次のいずれかによる。
- ・ ケイソウ土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
 - ・ 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

14. 輸送上の注意

国際規制	特に無し
その他	・ 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。 ・ 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

食品衛生法	食品添加物
-------	-------

16. その他の情報

【引用・参考文献】

- 1) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II; Robert E. Lenga
- 2) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 3) WHO Food Additives Series No.5, 1974
- 4) 変異原と毒性 5(6)579-587 (1982)
- 5) 通産省公報 平成5年12月28日

【問い合わせ先】

- | | |
|---|---|
| ・ 記載内容の問い合わせ先
株式会社武蔵野化学研究所
営業本部
電話番号 03-6810-0242
FAX 番号 03-6810-0148 | ・ 運送中の問い合わせ先
株式会社武蔵野化学研究所
磯原工場 業務部
電話番号 0293-42-1147(代)
FAX 番号 0293-42-1185 |
|---|---|

当データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意ください。